



## イキシアの取り組みについて ～復職支援に関して～

ワーク&ライフサポート イキシア  
事業所長：岩永徹哉

# + イキシアでは . . .



- 最大2年間の中で、  
一般企業への就職を目指している方々の  
**職業訓練**を行っています。

# + 就職実績

過去5年の実績



75名



その他多数 . . .

# +イキシアで行っている職業訓練



- ①企業実習訓練

- ②座学

- ③PC事務訓練

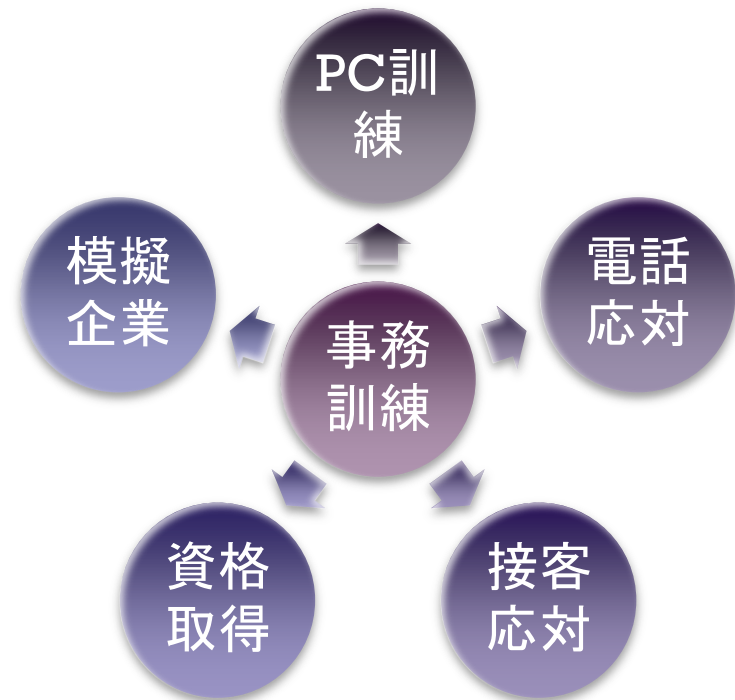
# + 実習



企業によっては工賃を頂いての実習もさせて頂いています。  
その場合の工賃は**全額**利用者の方にお支払いしております。  
※就職の検討の余地がない場合に限ります。

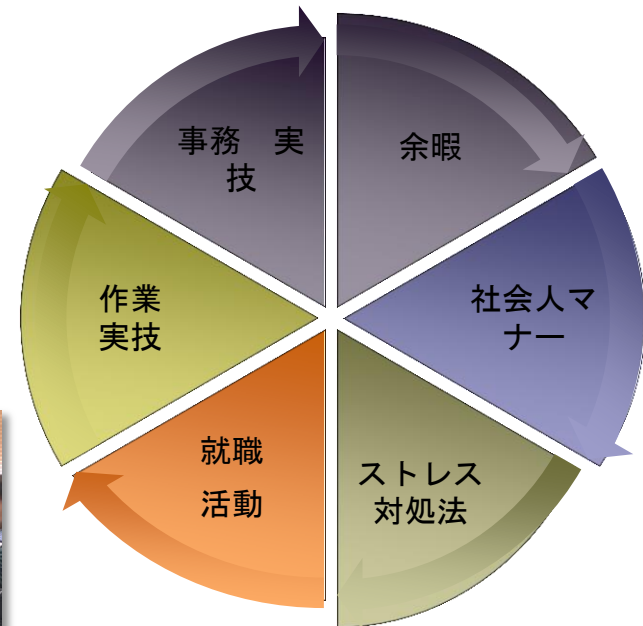
# + 事務訓練

- 事務職やパソコンを使った職種をご希望の方には、  
イキシア内にてパソコン訓練も行っております。

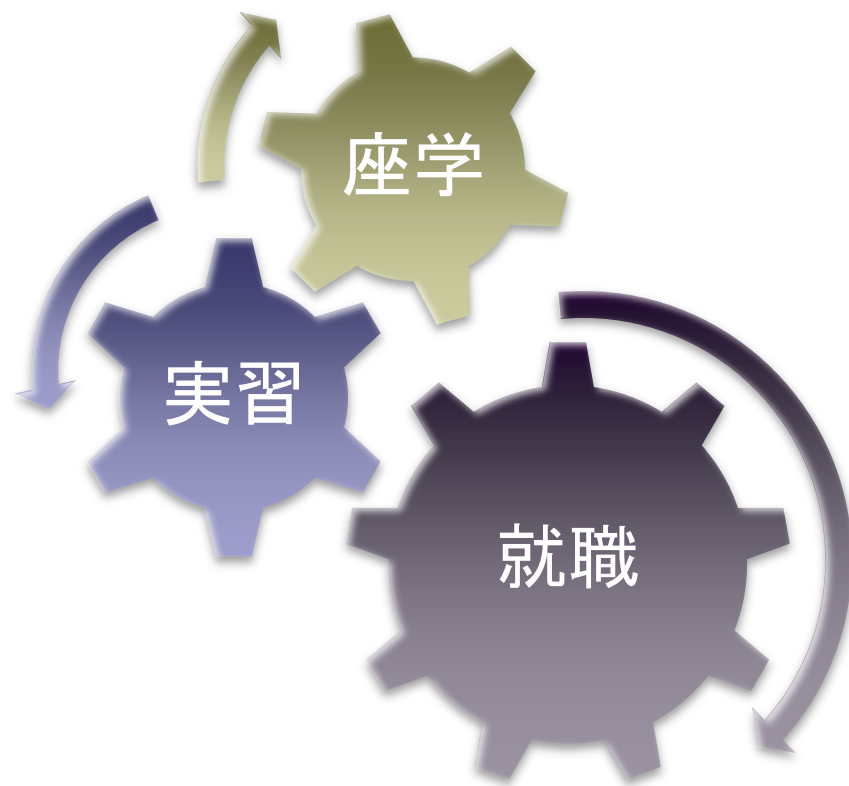


# + 座学

- それぞれの利用者の方に合った内容を提供いたします。



# + 実習と座学の繋がりについて





# + 今回のケースでは...

- 障害者就業・生活支援センターはまゆうのご紹介で、イキシアの見学や体験を行った。
- 体験を通して、イキシアの利用を進めたいとのことだったため、
  - ①市役所の申請手続き・聞き取り調査
  - ②障がい者相談支援センターイキシアにて計画相談を作成
  - ③対象者・相談支援専門員・イキシアのサービス管理責任者を集めケース会議を実施
  - ④就労移行支援事業所通所のための受給者証発行
  - ⑤イキシアの通所開始

という流れで利用を開始する。

# + 本人ニーズ・アセスメント状況

## 【本人ニーズ】

- ・平成X年5月に前職場での復職を行いたい
- ・できれば日中勤務

## 【アセスメント状況】

- ・軽度の失語症があり、思ったことをすぐに言語として発するのに時間を要する。
- ・空間無視等は見られていない。
- ・右側に麻痺があり、指先が動きにくさがある。痛みに関しても7～8秒程度感じるまでにかかる。
- ・無理をしすぎて疲労を溜める傾向がある。

# + 個別支援計画の立案

- ①生活リズム・体力面の確立・向上
- ②PCスキル向上
- ③接客スキルの向上
- ④相談・コミュニケーションスキルの取得





# 今回の事例について（経過）



## ・平成X年12月【イキシア利用開始】

月・水・金の午後のみ通所からスタート。高次脳機能障がい症状としてどのような影響があるのかも含め、アセスメントを行う。

## ・平成X年12月下旬～平成X年1月

疲労の確認等を行っていきながら、月は1日、水・金は半日の利用を開始する。体力的には問題なく取り組めており、継続した訓練を行っていく。そのなかで徐々に通所の日数を増やしていき、週2日、週3日の1日通所と通所リズムの確立を行って行った。

復職も考慮に入れ、パソコン訓練、座学。スーパーでの企業実習を行い、接客対応や体力向上、パソコンスキル向上等の職リハを行う。

## ・平成X年1月～平成X年2月【入院～退院】

自宅にて、てんかん発作が出たことにより入院となる。それまでは服薬を行っていなかったため、退院後は服薬を開始する。

## ・平成X年2月18日【通所再開～】

週3日からの通所で再開する。その後、3月までにかけて通所の日数を4日、5日と増やしていく。企業実習に関しては、接客関係の実習を数力行い、接客スキルの向上を中心に訓練を行う。

## ・平成X年4月～【本格的な個別プログラムを実施】

前職での復職をイメージして、個別プログラムを作成し、実施する。プログラムを行っていきながら、作業スピード、正確性、持続力、集中力の維持向上を行っていった。



## CD研磨訓練詳細について

①	目的	復職での仕事内容に近い訓練を行うことでスムーズな復職につなげる。 また、一定時間同じ作業を行っていただくことで、作業スピード・作業ミス・持続力・集中力・体力などを確認していく。
②	訓練内容	・ CD 研磨機に見立てた CD 空ケースを使用し、あらかじめ設定した時間、CD 研磨を行う。 ・ 全ての作業は立って行う。 ・ 内容の手順については添付資料参照。
③	訓練時間	① 45分作業・10分休憩・40分作業 ② 50分作業・5分休憩・35分作業 最初は休憩を入れて行っていただくが、徐々に作業時間を伸ばし、休憩なく作業を行えることを確認していく。
④	記録	チェック表を作成し、訓練終了後、本人に記入を行っていただく。 ※ 別紙1参照。
⑤	資料作成	記載していただいた記録を基に、グラフを作成する。また、職員の平均を測り、その結果との比較を行うことで、作業がスムーズに行えることを確認していく。 ※別紙2参照。





## CD研磨訓練手順

# + 準備①

※倉庫に道具を収納している箱を取りに行く。

＜箱に入っている道具＞

- ①ケース入り**CD** 20枚：ケースとディスクに分類のための番号シールを付けているが、2枚はシールなしを入れている
- ②**タイマー** 4個：3個は研磨の時間をセットするもの、1個は作業時間を計るもの
- ③**空のCDケース** 3枚：研磨機の代用
- ④**滑り止め用マット**

## + 準備②

※テーブルに研磨機に見立てた空のCDケースとタイマーをセットする。





## + 準備③

※箱の中の3つのタイマーを30秒（研磨時間とする）に、箱の外のタイマーを45分（作業時間とする）にセットする。



## + 手順①

研磨機に見立てた空のCDケースにディスクをセットする。



## + 手順②

ケースの蓋を閉じてタイマーの  
スタートボタンを押す。



## + 手順③

空ケース 3 枚に同じことを行う。



## + 手順④

タイマーがなった研磨機から  
ディスクを取り出す。



## + 手順⑤

盤面のシールにある番号と、  
ケース裏面のシール番号が同じ  
ことを確認して、ケースに片付  
ける。



## + 手順⑥

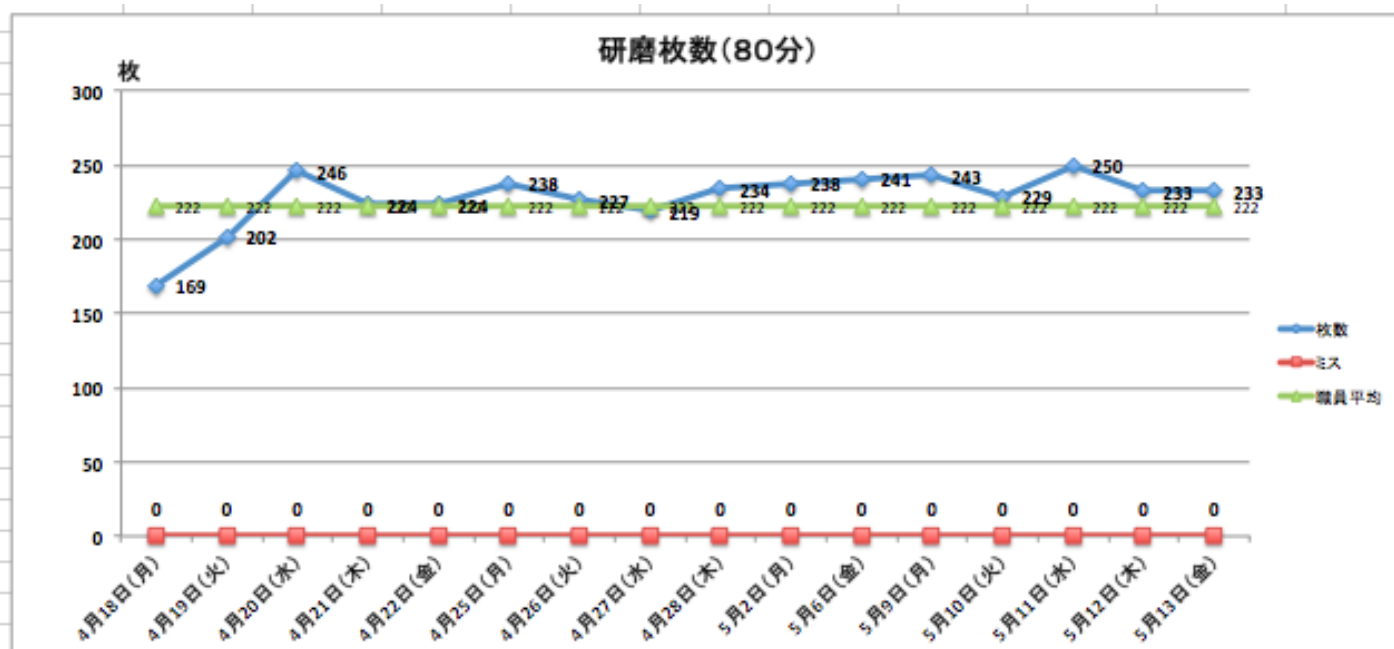
次のディスクを研磨機にセットし、タイマーのスタートボタンを押し研磨をスタートさせる。

## + 手順⑦

全てのディスクの研磨が終わったら、  
設定時間になるまで再度、①からの研磨作業を行う。



# + 結果として . . .



	枚数	ミス	職員平均
4月18日(月)	169	0	222
4月19日(火)	202	0	222
4月20日(水)	246	0	222
4月21日(木)	224	0	222
4月22日(金)	224	0	222
4月25日(月)	238	0	222
4月26日(火)	227	0	222
4月27日(水)	219	0	222
4月28日(木)	234	0	222
5月2日(月)	238	0	222
5月6日(金)	241	0	222
5月9日(月)	243	0	222
5月10日(火)	229	0	222
5月11日(水)	250	0	222
5月12日(木)	233	0	222
5月13日(金)	233	0	222

## ① 作業スピード

初日は説明を行いながらであったため作業量は少なめではあるが、作業を行うにつれ以前の勘を取り戻してきた様子である。  
イキシア職員の平均値(229枚)と比較して、全体的に同じかそれ以上であるため、作業スピードに問題はないと思われる。

## ② 作業ミス

研磨訓練を始めて約1ヶ月になるが、ディスクの破損などのミスはなく作業出来ている。

## ③ 集中力

作業時間中は、よそ見をであったり手が止まるなどのことはなく、集中して作業を行っている。またそれがミスなしにもつながっていると思われる。

## ④ 体力

CD研磨訓練を午前の訓練時間で行っていただいているが疲れは見られない。午後の訓練時間ではパソコン作業を行っているが、CD研磨訓練開始後も変わらず作業出来ている。



## CD 研磨訓練後の考察

### ① 作業スピード

イキシア職員で平均を取った数値と比較して、同じかそれ以上であるため、作業スピードに問題はないと思われる。

### ② 平均作業スピード

作業時間を増やしても平均作業スピードは変わらないので、一定のスピードで継続して作業を行うことが出来る。

### ③ 作業ミス

研磨訓練を始めて約1ヶ月になるが、ディスクの破損などのミスはなく作業出来ている。

### ④ 集中力

作業時間中は、よそ見 であったり手が止まるなどのことはなく、集中して作業を行えている。またそれがミスなしにもつながっていると思われる。

### ⑤ 確認作業

研磨後のディスクをケースに戻す際、ケースに貼っている番号シールとディスクに貼っている番号シールを確認してケースに入れており、入れ間違いなどのミスが出ないように気をつけることが出来ている。

結果として、イキシアでは復職が可能と判断する。  
対象者・企業・はまゆうとケース会議を開催し、主治医の意見書等の準備を経て、復職時期を決定・雇用開始となる。

# + 雇用の内容に関して

- 平成X年7月：復職開始。2ヶ月間のリハビリ期間。
- 業務時間：9：30～16：00までの5.5時間勤務
- 業務内容：バーコード貼り・PC出力をしバーコードの発行・商品陳列等
- 平成X年9月：2ヶ月のリハビリ期間を終え、8時間勤務で正規雇用。
- 本人の感想：通勤時間が長く、疲労が溜まりやすい。

接客時に咄嗟に言葉が出ない時があり困る。

周りの従業員に関して、気を使えていないと感じる。



GHなどの生活の場所の情報提供

勤務時間の調整

円滑なコミュニケーションを図れるように従業員と対象者との橋渡し



# 定着支援

～継続的に安心して就業できるように～



各関係機関と連携をしながら、継続して業務を行えるように定着支援を行っています。

定期的に各機関とケース会議等を開催し、状況の確認を行っています。

生活面の支援等も行っています。

# + ご案内

イキシアの情報はこちらでも見て頂けます。

HP

<http://www.ixia-kyw.co.jp>

Facebook

<https://www.facebook.com/kyw.ixia>

イキシア 就労

検索



 いいね！